

## 新幹線地本申9号

### 「東京新幹線運輸区発足に関する申し入れ」団体交渉実施！

新幹線地本は3月18日、表題について新幹線統括本部と団体交渉を行いました。主な議論は以下の通りです。（※項目数が多いため、特徴的な部分のみ掲載します。詳細は地本業務部まで！）

その1

#### 【執務エリア関係】

11. 執務・乗務員エリアのうち、待機場所エリアの広さ・机・椅子等の設置規模を明らかにすること。また、異常時においても密にならぬよう、十分なエリアを確保すること。

回答：明るく開放的なレイアウトとし、新型コロナウイルス感染症予防も考慮した設備を整備していく考えである。

会社 統括本部として新幹線運輸職場の理想像のようなものをつくろうということで、社員とコミュニケーションをとりつつ今回のようなレイアウトになった。

組合 我々が囂んでいる声として、胴乱置き場が少ない。休憩するスペースが少ない。時間帯によって密になる恐れがある。抜粋するスペースが十分になく、ソファに座って抜粋している。スペースの間仕切りがないので、食事していて落ち着かない。フロア内の各エリアの範囲が視覚的にわかりづらい。

会社 今後の環境改善については東京新幹線運輸区がやっていく。胴乱置き場は増設できるよう調整している。

#### 確認

- ◆発足したばかりでもあるので、今現在のルールがずっと続くわけではない。
- ◆使いにくい部分、ルールがあれば管理者へ伝えてほしい。
- ◆今後必要なものがあれば、東京新幹線運輸区として準備するかも含めて検討していく。

13. 女性専用の待機場所を確保すること。

回答：執務・乗務員エリアにおいて、女性専用のスペースを設置する考えはない。

会社 最初から設置する計画はない。社員からもそのような意見はなかった。

組合 これまでの職場では女性が休める専用の区画というかスペースが存在していた。

会社 これまでの職場の延長としての考えではなく、またスペースも限られている中で判断した。女性専用のスペースを作るところまでには至っていない。LGBTの考え方も含め、全ての社員が平等に休める空間にはしている。他の職場がどうという話ではなく、東京新幹線運輸区については区別しないということだ。

組合 今後使っていくなかで意見が出された場合には改めて検討するべきだ。設備が地方の職場とアンバランスになる。我々としての問題意識があることは伝えておく。

#### 対立

- ◆基地再編の議論のなかで、女性専用スペースを設けてほしいという意見は特に出なかった。

多くの社員が利用する職場だからこそ、発足後も設備に関して様々な意見が寄せられています！

「働きやすい職場」「しっかり休息できる職場」の環境実現を目指して取り組んでいきます！

その2へ続く…